

急変時対応についてのお伺い

介護老人保健施設ゆうむ

ご承知のように、老健施設は、ある程度の医療機能は備えているものの、いわゆる病院、医院といった医療機関とは異なりますので、緊急時の対応には限界があり、必ずしも救命処置が十分とは言えません。

しかしながら、施設利用者の皆様は、既往歴に伴う身体状況や、加齢に伴う身体的特徴により、入所中、突然急変して、生命に関わる危険な状態に陥る可能性は否定できません。そのような場合、医師を含む医療スタッフは必要な処置を講ずると同時に、ご家族様に速やかに連絡して対応を相談致しますが、急を要する場で連絡がつかず、ご相談が出来ない状況も発生しかねません。

そこで、皆様が日頃どのような対応をお望みなのかについて、現時点でのお考え、お気持ちを事前に敢えて伺っておきたいと思っております。

下記□に✓記して、ご希望があれば（ ）内に記入してください。

なるべく自然な状態で見守ってほしい。

()

苦痛をやわらげる処置を希望する。

()

施設で可能な範囲での処置を希望する。

{末梢血管確保（点滴療法）、酸素（O₂）療法、吸引、バルーン、心電図モニター、など}

()

出来るだけの救命、延命措置を希望する。

{気管内挿管、気管切開、レスピレーター（人工呼吸器）IVH（中心静脈栄養）、心臓マッサージ、など}

()

その他のご意見

()

年 月 日

ご利用者氏名

ご家族代表者氏名

印（続柄 ）